

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

令和7年7月8日（火）15時50分～17時00分

大会議室

学校運営協議会委員（五十音順）

皆藤 慎一（横浜平沼高等学校 同窓会真澄会 会長）

籠田 誠（横浜西口エリアマネジメント事務局 事務局長）

小島 由美（横浜平沼高等学校 校長）

ジギャン クマル タバ（かながわ国際交流財団学術・文化交流グループ 職員）

遠山 満（横浜市立岡野中学校 校長）

平野 周二（横浜市西区第5地区自治会連合会 会長）

藤井 千春（早稲田大学 教育・総合科学学院 教授） 欠席

深山 由希子（横浜平沼高等学校 PTA会長）

脇本 健弘（横浜国立大学 教職員大学院 准教授） 欠席

本校職員

川上 司（副校長）

川崎 幸（教頭）・司会

島崎 理恵子（事務長）

小出 実（教務・情報グループ GL（グループリーダー））

日野 裕紀（総務グループ GL）

藤山 直樹（研究開発グループ GL）

一柳 浩一（進路グループ GL）

志方 大悟（生徒会グループ GL）

石附 泰典（生活グループ GL）

○ 開会

○ 学校運営協議会・評価部会

1 校長挨拶

今年度は創立125周年にあたり、真澄会、PTAと協力して記念式典などの準備しているところである。教室の整備に関して、電子黒板が県の施策として配備の予定である。全国的に教員不足であるといわれているが、本校では、育児休暇、産休代替の教員が見つかっていない現状がある。そんな中、今年度は授業改善にも積極的に取り組んでいる。

2 委員委嘱

委員名簿の通り委嘱された。

3 委員紹介・職員紹介

自己紹介形式で行った。

4 会長、副会長の選任

副校長から会長に平野委員、副会長に小島委員（本校校長）を推す提案がされ、承認された。

5 学校運営協議会について説明

副校長から学校運営業議会の運営等に関する要綱及び本校の学校運営協議会生徒について説明があった。

6 【協議】学校教育計画及び学校目標について

(1) グランドデザイン、スクールミッション、スクールポリシーについて

校長より説明があった。昨年度からの変更は特にない。グランドデザインの様式は県が統一したので、以前のように学校独自の形式にはなっていない。

(2) 入学者選抜について

令和7年度選抜結果と令和8年度の選考基準について説明があった。選抜結果に特に大きな変化はない（石附 GL）。

(3) 教育課程、学習指導について

3年間新しいカリキュラムで学んだ生徒がこの3月に卒業した。今後、各教科で分析し、教務・情報グループと連携しながら、このような場でご意見をもらい、教育課程の在り方を考えたい。
(小出 GL)

今年度は授業改善をこれまで以上に組織的に行い、生徒の力を伸ばしたい。「即興型ディベート」の実践や発信型の授業を研究したい。真面目だが受け身、インプットが得意な生徒から、自ら進んでやる姿勢を持ち、アウトプットして未知の問題の解決を図る生徒の育成を目指し、昨日も指導主事に来校をお願いし、アドバイスを受けた。（藤山 GL）

(4) 生徒指導、生徒支援について

先日行われた文化祭では、新たにキャッシュレス決済を導入し、うまくいった。時代の流れだろう。入場者は8000人を超えた。日程が高校の期末試験とかぶり、高校生は減ったが中学生は増えた。5月の体育祭においては近隣より騒音の訴えがあった。（志方 GL）

生徒の学校生活は落ち着いているが、日常生活について、ゴミの捨て方などに問題がある。また、下校時に話し声がうるさい、歩道を横に広がって歩いているなどの指摘を受けている。昨年度からのかながわ子どもサポートドックは、SC、SSWの協力で丁寧に実施している。サポートが必要な生徒を洗い出し、アラートがついた生徒に対して積極的に声掛けをしている。内面に問題を抱えている生徒が多い。（石附 GL）

(5) 進路指導・支援について

昨年度は、京都大学合格や医学部合格などの実績を上げた。現在は、夏季休業を控え、ちょうどHiゼミ、スタディショップの募集が始まったところ。他にも先輩セミナーや大学模擬授業などでキャリア観の育成を図っている。第一志望宣言を出させた3年生は体育祭、文化祭も終わり、生徒自身が進みたいと思っている進学先に向けたサポートを引き続き行いたい。（一柳 GL）

(6) 地域との協働について

深山PTA会長と去年から一緒に活動させてもらっている。PTAによって新たに校舎外にAEDを設置した。保護者対象のAED講習会を実施する。先日の文化祭ではPTAとして教室

にスペースを設け、たくさんの人々に来てもらつた。引き続き、活動を盛り上げていくべく、SNSによる活動の発信も始めた。(日野 GL)

生徒会を通じてやらせてもらつてるのは地域貢献活動。この学校周辺に居住する生徒は少ないものの、今年度は清掃活動をメインに地域との交流を深めたい。(志方 GL)

(7) 学校管理、学校運営について

いつ起きるかわからない防災への備えとして、先日、中間試験の最終日に第1回目の避難訓練を実施した。第2回目が9月にある。それまでに意識向上や職員への意識啓発を行いたい。また、先日の避難訓練後半では、学年別で災害対策学習を行つた。資料13は校内に地域住人が避難し、避難所ができた時に、どう関われるかを生徒に聞いたアンケート結果。率先して対応したという意見が見られた。実際のところ生徒には何ができるか、これについて考えていただきたい。(石附 GL)

グループ運営で日々悩ましいのが見える化、オンライン化で、それなりに対応して改善を図っているつもりだ。また、学校の管理、運営面では「学校要覧」に新たな情報を加える、選択教室を整備するなどの取り組みをした。(日野 GL)

教員の働き方改革を推進するため、各教員に勤務時間や時間外勤務の管理、把握を促している。また時間外勤務が過多となる教員には面接などの対応をとっている。(副校長)

(8) 施設・設備について

現在の校舎が建つて30年以上経過し、老朽化が進み、いろいろと修繕が必要な場所が増えていく。限られた予算の中での対応が強いられ、県に働きかけている。真澄会にはまなびや基金を通じて大変お世話になっている。今年度もテニスコートの照明の増設や小ホールの改善が行えた。また学校施設開放事業について、希望が増加傾向にある。学校の社会への役目を今後も果たしていきたい。(事務長)

(9) 質疑等

朝、見守り隊として平沼橋駅に立つ。昨年来、夜間、早朝に近隣で暴行等の事件が起きていく。防犯について生徒には気にかけてもらいたい。JR横浜駅までに、歩道の幅が狭いところがある。横に広がる生徒さんには気を付けてもらいたい。学校が避難所になった場合、時間帯によって対応は変わろう。その点も意識して考えてほしい。(平野委員)

－いただいた意見を参考に検討させてほしい。(石附 GL)

資料から、夏休みの手厚い講習を行つてることが伺える。すごいなあと感心して見せてもらった。その反面、先ほどの教員の働き方改革とのバランスが難しいと思う。(遠山委員)

－さらに部活動の合宿などもあり、講習をやりたいけれどできない先生もいる。(一柳 GL)

我々は横浜駅西口の安全環境確保に力を入れている。清掃活動も独自に取り組むものや、地域の取り組みと一緒に参加するなどさまざまに行つていている。その点、地域貢献活動として生徒さんの地域清掃はありがたく感じている。(籠田委員)

平翠戦について触れたい。昨年来、体育系部活動を中心に生徒ががんばっている。(皆藤委員)

教員不足の話はとても深刻であると受け止める。休んでいる人がいると他の人にしづ寄せが及ぶ。また、下校時に生徒がうるさいとの指摘だが、高校生なら話しながら歩く、自分もそうだった。社会の風潮なのか、地域の眼差しが以前に増して厳しいのかなと思う。かながわ国際交流財団では、高校派遣事業として1年間に15校くらい訪問している。国際交流についていつでも相談に乗みたいので、どんなことができるのかをホームページを見てイメージしてほしい。(ジギヤン クマ)

ル タバ委員)

平沼高校では PTA 役員、委員が 80 人、90 人に及ぶ。他校に比べて人数が多い。交通費をかけても来るほど、学校に興味、関心のある人が多いようだ。PTA としても協力ができることがないかと思っている。文化祭のホームページがわかりづらく、情報が遅かった。3 年生の演劇はみんな興味を持っていて、一般客も多い。ぜひ工夫してほしい。夏期講習について、3 年の文系科目があまりなくて残念である。「学校案内」について、デザインが少し古い感じがする。伝統は革新とセットで考え、できる限り新しく進化してほしい。(深山委員)

7 報告・連絡

副校長から、次回は 11 月末から 12 月に開催の予定であること、また報酬の振込依頼についての連絡があった。

○ その他の部会

終了時間が迫っていたため実施せず。

○ 閉会